

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和2年度 東広島市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和3年2月12日（金）13：30～14：50
開催場所	東広島市役所本館3階 会議室303
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	小勝負委員、藤本委員、津森委員
事務局職員氏名	生活環境部長 弓場 人権男女共同参画課 課長 益田、係長 柄崎、主査 岡野
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>議題1 審議会等委員への女性登用状況について</p> <p>議題2 第2次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）第2期実施計画の取組状況について</p> <p>議題3 男女共同参画推進事業の令和2年度の取組状況及び令和3年度の実施計画について</p> <p>3 その他</p> <p>東広島市男女共同参画推進審議会スケジュールについて</p> <p>4 閉会</p>
配付資料	<p>資料1-1 審議会等委員への女性登用状況（令和2年4月1日状況）</p> <p>資料1-2 審議会等委員への女性登用状況（詳細）（令和2年4月1日現在）</p> <p>資料2-1 第2次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）第2期実施計画の取組状況</p> <p>資料2-2 第2次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）第2期実施計画の取組状況（具体的事業別）</p> <p>資料3 男女共同参画推進事業 取組状況および実施計画</p> <p>資料4 東広島市男女共同参画推進審議会スケジュール</p> <p>その他 東広島市男女共同参画推進審議会規則、次第、座席表</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・部長挨拶 ・出席者の確認 ・新任委員紹介（住田委員、野村委員） ・配布資料の確認 ・議事進行の委任（坂田会長へ）
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議は概ね 15 時までには終了することを予定している。 ・最初に、議題 1 「審議会等委員への女性登用状況」について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1-1、1-2 説明
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見などあれば伺いたい。
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境先進都市ビジョン推進会議など女性委員が 0 人のものがあるが、将来構想には女性の意見も不可欠なので、女性が入れるようにしていただきたい。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の女性登用率増については、審議会での議論よりも、まず市の幹部の意識を変えるようにされると良いのでは。
松尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の内部組織については、かねてより課題として認識し、委員登用の際に担当課から人権男女共同参画課に事前協議する仕組みは既にできているが、あて職で決まっているものがある。女性参画をより徹底していきたい。 また、社会全体として意識を変える必要があると考え、啓発を進めている。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・施策や方針に女性の意見も取り入れられるよう、一層の女性登用を進めてほしい。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題 2 「第 2 次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）第 2 期実施計画の取組状況」について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 2-1、2-2 説明
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見などあれば伺いたい。
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの待機人数について、3 人程度であれば運用次第で入れることができるのではないかと。また、いきいきこどもクラブ、放課後児童クラブ、ファミリーサポートセンター間の連携はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童が 3 人しかいないにも関わらず対応できなかった理由は把握していないため、確認をして後日皆様にお知らせします。
松尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの利用者は概ね 2000 人位であり、対象数の多い西条中心部などでは運用により臨機応変な対応をしているが、人口の少ない地域において開所自体の課題がある。また、指導員の確保も課題である。
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンターの運営について、登録会員数は伸びているようだが、活用はされているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートセンターの実利用件数については、H 2 7 の 1 5 5 5 件から年々増加している。H 3 1 はコロナの影響もあったため H 3 0 よりは減少したが 2 2 4 4 件であり、トータルでみて伸びている。

坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> 女性リーダーバンクの登録について、女性は「リーダー」という名称が付いていると遠慮する傾向があるので、名称自体の変更を検討しても良いと思う。 また、登録をしてもらうには、これはという方に対して個別にプッシュしたら良いと思う。
坂田会長 (議事進行)	<ul style="list-style-type: none"> 議題3「男女共同参画推進事業の令和2年度取組状況及び令和3年度の実施計画」について、事務局から説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料3説明
坂田会長 (議事進行)	<ul style="list-style-type: none"> 質問や意見などあれば伺いたい。
野村委員	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の実施計画案について、企業を重点的に落とし込んで実施するのか。世の中の働き方が変わってきているが、これを促進するためには、企業の考えを変えていかなければならない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革は市民と企業の両方の意識を変える必要があると考えており、オンライン配信も含めた講座を行っていききたい。
坂本委員	<ul style="list-style-type: none"> 以前仕組みがあったように思うが、講座の終了後、受講生へ個別に声掛けをして女性リーダーバンクに登録してはどうか。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> 良い仕組みなので、また取り入れると良いと思う。 受講者が自主的に「次にこうしたい」と考え、広がっていくような仕組みになると良いので検討してもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 参加しやすい形での方法を検討します。
財満委員	<ul style="list-style-type: none"> 仕組みづくりについては、行政だけではなく皆で少しずつでも関わっていけば、もっと見えるものがあるのではないかな。
住田委員	<ul style="list-style-type: none"> 託児者として各種講座に出向いており、参加しているお母さん方とも話をするが、情報を知らない人は本当に知らない。もっとうまく周知できたらよいと思う。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> 講座の周知はどのように行っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 広報やフェイスブックなど、考えられる限りの方法で行っています。
田中さん	<ul style="list-style-type: none"> 学校の現場では教頭の過半数が女性であり、女性の生徒会役員が何人いるかに注目している。 学校教育の立場からは、大人なり、女性なりの姿勢を子どもに示していくことが大切と考えている。 新しい道徳の教科書には、巻末に男女共同参画推進法などの法律が掲載されており、取り上げていく必要性を感じている。
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> 来年度は取り組みのやり方を変えるチャンスだと思う。 広報紙はあまり見ない。メルマガは配信されても読まないものも多いし、そもそも登録しておく必要がある。学校等からの配布物は、保護者は目を通すので効果的と思う。回覧板は情報が届くのが遅いのでよくない。
松尾委員	<ul style="list-style-type: none"> 広報についてはSNS中心となるが、ポータルサイトによって対象者ごとに情報をまとめて提供する事業を新年度から始めることになっている。期待していただ

	きたい。
高橋委員	・このような審議会に、もう少し発信力のある人を委員にしたら良いのではないか。
小坂委員	・若い世代の意見を取り入れることが必要ではないか。SNSといってもフェイスブックは若い世代は殆ど使っておらず、クラブハウスなどの活用により、意見を言える場・会を作ることが重要。オンライン配信は積極的に取り組んでほしい。
坂田会長	・性別や世代間を越えて意見が出し合える場になると良い。 ・それぞれの身近な人に話すだけでも推進につながるので、委員の皆さんにもお願いしたい。
坂田会長	・以上で審議を終了し、事務局にお渡しする。
事務局	・資料4説明
事務局	・挨拶 ・閉会